『Union is Power』 ~ 『能力を人の為に使う』 ~

2025年5月14日 新渡戸稲造(1862-1933) の『Union is Power』(協調・協力こそが力なり)が、大いに話題になった。1933年3月3日に三陸で地震の大災害があったと記されている。その時、新渡戸稲造は 被災地宮古市等沿岸部を視察したとのことである。その惨状を目の当たりにした新渡戸稲造は『Union is Power』と当時の青年に語ったと言われている。まさに、今にも生きる言葉である。時代の波は 寄せては返すが『人の心と 歴史を見抜く 人格の力出でよ!』まさに、『今、ふたたび 新渡戸稲造!』の時でなかろうか!

新渡戸稲造が 国際連盟事務次長時代(1920~1926)に設立したのが『知的協力委員会』である。【世界中の叡智を集めて設立した『知的協力委員会』(12名のメンバー)には 哲学者のベルグソン (1859-1941)や 物理学者のアインシュタイン(1879-1955)、キュリー夫人(1867-1934)らが委員として参加し 各国の利害調整にあたった。『知的協力委員会の後身がユネスコ』】である。【『真の国際人=『賢明な寛容を持ち』&『能力を人の為に使う人物』】であろう!

筆者は、【原田明夫(1939~2017)検事総長・東京女子大学理事長】(画像)と、2000年『新渡戸稲造 武士道100周年記念シンポ』(国連大学ウ・タントホール)、2002年『新渡戸稲造生誕140年』(群馬県伊香保温泉)、2003年『新渡戸稲造没後70年』(札幌)、さらに2004年『新渡戸稲造 5000円札さようならシンポ』(国連大学ウ・タントホール)で開催したのが走馬灯のように駆け巡ってくる。一番の思い出は、原田明夫氏と月1回『21世紀の知的協力委員会』を開催したことである。

2012年11月3日、学士会館(東京都千代田区)で『第9回南原繋シンポジウム』が開催された(画像)。 【シンポジウムでは、新渡戸稲造生誕150周年を記念する年でもあり、南原繁(1889-1974)による新渡戸稲造の証、その他新渡戸稲造の代表的著書を振り返り、現代日本にいかに新渡戸稲造の価値観を活かしていくかについて順天堂大学教授の樋野興夫氏による講演会および専門家らによる解説・提言がなされた。】と報告された。『愛の生みたる不屈の気性』(新渡戸稲造)が必要であることを痛感する日々である。



順天堂大学教授の樋野興夫氏=3日、学士会館(東京都千代田区)で

